

第8回学術シンポジウム参加報告

日時：平成29年8月6日(日)
場所：東京医科歯科大学



中原 幹雄 (愛知県)



平成29年8月6日(日)、公益社団法人日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部第8回学術シンポジウムに参加いたしました。「Dental Implant~Now&Future」をメインテーマとして盛大に開催されました。セッション1では「基礎的イノベーション」をテーマとした講演が行われ、長澤麻沙子先生(新潟大)によるインプラント表面性状と細胞との関係について、奥寺俊允先生(東京都開業)が各種血小板濃縮材料の特徴を比較し、その臨床応用について解説を行いました。最後に、依田信裕先生(東北大学大学院)による力学解析ベースの骨リモデリング予測システムの研究報告がありました。特別講演では、松岡由幸先生(慶応大学)による「デザイン科学と人工知能、そしてタイムアクシスデザイン」を演題として講演されました。AIの特徴から将来の産業のあり方を考察し、デザイン科学の視点からインプラント治療支援システムについての言及がありました。セッション2

では、「臨床的イノベーション」をテーマとして6名の先生方の講演があり、小宅宏史先生(埼玉県開業)はインプラント治療における高齢者や有病者への対応について講演され、吉野晃先生(東京都開業)は軟組織へのレーザー応用を解説し、その後、硬組織への応用の研究について発表されました。八木原淳史先生(茨城県開業)はオーバーロードがインプラント周囲組織と周囲炎へ及ぼす影響について発表されました。淵上慧先生(神歯大)はインプラント周囲炎の現状について報告されていました。岡田素平太先生(東京都開業)はインプラント埋入前の軟組織移植術、特にオンレーインターポジショナルグラフトについて解説されていました。最後に、石浦雄一先生(昭和大)は安全なインプラント手術を行うためのデジタル技術の応用としてガイド、ナビゲーションシステムについて講演を行いました。セッション後のディスカッションでは多くの質問が飛び交いました。